

2019年度 津市文化創造事業 報告書



報告書作成：森の劇場プロジェクト/長野多恵

目次

1. はじめに	3
2. 今年度実施事業の概要	3
3. 今年度の事業を振り返って（所感）	18
4. 本年度における特筆事項	18
5. 来年度に向けて	19
最後に	20

1. はじめに

市民が直接地域づくりに関わることのできる「津市文化創造事業」の委託を受けて4年が経過しました。この地域活動は、試行錯誤・創意工夫の継続により、社会的相続の役割を持った魅力的な地域づくりのシステムが動き始めています。多くの人の利他的役割が多世代に伝搬し循環し始めました。この事業の推進にあたり、ご理解とご協力を賜ったすべての方々に心から感謝いたします。今年度の事業内容を以下報告いたします。

2. 今年度実施事業の概要

(1) 事業目的

地域と連携した文化芸術の創造を目指し、白山総合文化センターしらさぎホールの活用を踏まえた事業展開を図り、市民文化芸術活動への取り組みの契機と、今後の文化創造のきっかけ及び担い手の育成となる場を提供する。

(2) 実施事業

- ① 子ども里山そうぞう学校 2019・・・・・・・・チラシ・パンフレット・内容の詳細は、資料1-①～⑤をご覧ください。
 - a. 実施概要：小学生を対象に、芸術体験・自然体験・表現活動を総合的に組み入れ、多くのコトとヒトに出会う機会を創出し、想像力と創造力を発揮する経験により人間性豊かな成長に助力できるプログラムと、地産減農薬の白米を共に食する食育とを合わせ、市内在住の各分野の専門家や協力者をコーディネートし実施しました。
 - b. 実施期間：6月～12月
 - c. 実施回数：芸術体験 全6回（日曜日、10：00～15：00）
自然体験 全3回（日曜日、10：00～15：00）
表現活動 全11回（日曜日、10：00～15：00 / 日曜以外、17：30～19：30 / 舞台本番1回）
 - d. 実施場所：白山総合文化センター及び周辺の自然空間
 - e. 参加人数：30人

f. 参加費：28000円（保険代・材料費・受講料・昼食代・舞台参加費を含む）

g. 実施プログラム詳細

日	内容	責任者	スタッフ数	地域ボランティア数
6月30日(日)	開校式：芸術体験 ①（体験参加型舞台鑑賞）	長野多恵	6名	里山学校OG 1名 津文団連より多数 森劇メンバー多数
7月21日(日)	芸術体験 ② 手工芸（織る）	笠松智子	6名	
8月4日(日)	自然体験（1）「川」	笥 晴	6名	12名
8月18日(日)	芸術体験 ③ 能楽	長田 郷	4名	
9月8日(日)	芸術体験 ④ 造形（描く）	須賀優子 森松千恵	4名	
9月23日（月・祝）	自然体験（2）「作業」 *雨天により「米」「秋野菜」の学び	笥 晴	5名	
10月6日(日)	自然体験（3）「田んぼ」	笥 晴	6名	12名
10月27日(日)	芸術体験 ⑤ 身体表現（歌・踊）	長野多恵	4名	
11月3日(日)	「表現体験」全11回	長野多恵を中心とする 表現活動チーム	4名	
11月6日（水）	芸術祭津市民演劇作品		3名	里山学校OG 1名
11月10日(日)	「コノ村『山神』伝」		4名	
11月13日(水)	出演のためのリハーサル		3名	里山学校OG 1名
11月17日(日)	↓		4名	
11月20日（水）	↓		3名	里山学校OG 1名
11月24日(日)	・出演者合同練習		4名	
11月27日(水)			3名	里山学校OG 1名
11月29日(金)	・舞台稽古		4名	
11月30日(土)	・舞台通し稽古		4名	
12月1日（日）	・本番		4名	

12月 8日(日)	閉校式：芸術体験 ㊦ 書道	渡部ひで子	4名	
-----------	---------------	-------	----	--

② 子ども里山そうぞう学校専科 創作表現クラブ・・・・・・・・資料は、資料1-⑥をご覧ください。

- a. 実施概要：子ども里山そうぞう学校継続希望者を対象とした
身体表現トレーニングと創作体験・表現活動に特化したプログラムの企画・実施。
- b. 実施期間：7月～12月
- c. 実施回数：17回（隔週土曜日 16：30～19：00） *11月のみ 舞台参加のため特別スケジュール
- d. 実施場所：白山総合文化センター及び周辺文化施設
- e. 参加人数：12人
- f. 参加費：29000円（保険代・材料費・受講料・舞台参加費を含む）
- g. 実施プログラム詳細

日	内容	責任者	スタッフ
7月13日(土)	物語のリスニング残ったことの拾い出しと、その伝達。	長野多恵（身体表現） 伊藤知子（音楽）	
7月28日(土)	前回の印象を表現化（グループワーク）	〃	
8月10日(土)	前回の表現化を実演体験	〃	
8月24日(土)	前回の実演を全員で体験	〃	
9月14日(土)	脚本コノ村「山神」伝のリーディング	〃	
9月28日(土)	コノ村「山神」伝に関する疑問点拾い出し	〃	
10月12日(土)	芸術祭への関わり方を考える	〃	
10月26日(土)	芸術祭の表現役割の決定	〃	
11月 2日(土)	芸術祭参加のためのリハーサル開始	〃	小川由子（舞）、須賀優子（描）
11月 9日(土)	・「山神」「現代の米作り事情」研究チーム	〃	〃
11月16日(土)	・過去と未来の風土描写チーム	〃	〃
11月23日(土)	・劇場マナー伝達チーム	〃	〃

11月24日(日)	・演劇場面創作舞踊表現の創作	〃	〃
11月29日(金)	↓	〃	
11月30日(土)	・舞台稽古 全体通し稽古	〃	
12月1日(日)	・本番	〃	
12月14日(土)	みんなでつくるダンス・ダンス・ダンス (家族参加可)	〃	

③ 子ども里山そうぞう学校専科 里山探検移動クラブ・・・・・・・・・・詳細は、資料1-⑦をご覧ください。

- a. 実施概要：子ども里山そうぞう学校継続希望者を対象とした
 里山での活動・遊びを通して、人の暮らしを支える自然を体感することと、生活を彩る芸術体験を組み合わせ、その集大成として舞台に参加するプログラムを企画・実施。
- b. 実施期間：7月～12月 *今年度、7月台風のため1月に振り替えて活動を行っている。
- c. 実施回数：13回（1回/月、10：00～15：00） *11月のみ舞台参加のための特別スケジュール
- d. 実施場所：白山総合文化センターと周辺施設と周辺自然空間
- e. 参加人員：10人
- f. 参加費：26000円（保険代・材料費・受講料・昼食代・舞台参加費を含む）
- g. 実施プログラム詳細

日	内容	責任者	他スタッフ数
8月31日(土)	稲刈り仕事体験 / 田んぼで遊ぶ	井谷 功	3名
9月29日(日)	釣竿(竹)つくり と 魚釣り	〃	3名
10月20日(日)	畑(カブの種まき)仕事 と 土遊び	岩田すみ子	4名
11月2日(土)	芸術祭参加のためのリハーサル開始	笠松智子	1名
11月9日(土)	・村の子どもたち と カエルたちの演技と踊り	長野多恵	1名
11月16日(土)	↓	〃	1名
11月23日(土)	↓	〃	1名
11月24日(日)	・出演者合同練習	〃	1名

11月29日(金)	・舞台稽古	〃	1名
11月30日(土)	・舞台通し稽古	〃	1名
12月1日(日)	・本番	〃	1名
12月15日(日)	里山探検 と 里ごはんづくり	井谷 功	4名
1月18日(土)	10/20のカブの収穫 と 鹿の角でアート	岩田すみ子・井谷 功	2名

④ 子ども里山そうぞう学校専科 (実験) 山歩き発見クラブ・・・詳細資料は、資料1-⑧をご覧ください。

a. 実施概要：「とにかく歩こう！見つけた不思議をみんなで紐解いてみよう。」と題し、なるべく身体のみを使って自然の中をあるくことを複数、多世代で行ってみる。日常では経験できない直感や五感への刺激や、人間関係の変化を探ってみるための実験実施。対象は、森の劇場プロジェクト関係者、または関係者からの紹介者としてみた。

b. 実施期間：7月～10月

c. 実施回数：1回/月 全4回

d. 実施場所：白山町を中心として自然空間

e. 参加人員：6～10人/回 *単発参加も実験してみた。

f. 参加費：1500円/人 2500円/親子 2000円/単発参加費 (保険代・昼食代・参加費)

g. 実施プログラム詳細

日	内容	責任者	他スタッフ数
7月7日(日)	白山町垣内宿～青山峠を目指して	内藤 徹	3名
8月7日(水)	白山町垣内宿～布引の滝	〃	3名
9月7日(土)	白山町真見城～二俣集落	〃	3名
10月5日(土)	白山町福田山～山地酪農「鈴木牧場」さんへ	〃	3名

⑤ そうぞう活動のアウトリーチ・・・・・・・・資料は、資料3-①をご覧ください。

a. 実施概要：河芸公民館からの活動依頼と、放課後クラブからの特別講座依頼がありました。

b. 実施場所と実施日時：・河芸公民館 1) 里山モノづくり教室：5月～第四(土) 9：30～12：00 全7回

2) 声をたのしむ創作倶楽部：5月～第一(金) 9：30～11：30 全6回

3) よくばり講座の12月講座：12月19日(木) 9：30～11：30

・榊原地区放課後クラブ(ばらっこ)夏休み特別講座：8月27日(火) 13：00～15：00

c. 参加人数：里山モノづくり教室=12名

声をたのしむ創作倶楽部=14名

よくばり講座=18名

ばらっこ放課後クラブ=40名

d. 実施プログラム詳細

【里山モノづくり講座】

日	内容	場所	講師
5月25日(土)	織物デモンストレーション	河芸公民館	笠松智子
6月22日(土)	織物体験	〃	〃
7月27日(土)	創作作品づくり	〃	〃
8月24日(土)	〃	〃	〃
9月28日(土)	〃	〃	〃
10月26日(土)	〃	〃	〃
*11月2日(土)	河芸地区文化祭展示参加	〃	〃
11月16日(土)	振り返り	〃	〃

【声をたのしむ創作倶楽部】

日	内容	場所	講師
5月10日(金)	身体教養、群読、歌デモンストレーション	河芸公民館	長野多恵・伊藤知子
6月7日(金)	群読体験	〃	〃

7月 5日(金)	群読創作活動(1) 作品決定、部分練習	〃	〃
8月 2日(金)	群読創作活動(2) 役割分担、部分練習	〃	〃
9月 6日(金)	群読創作活動(3) 部分練習～通し練習	〃	〃
10月 4日(金)	群読創作活動(4) 通し練習	〃	〃
11月 2日(土)	河芸地区文化祭舞台発表参加	〃	〃

【よくばり講座】

日	内容	場所	講師
12月19日(木)	たのしい創作ちぎり絵	河芸公民館	森松千恵

【ばらっこ放課後クラブ】

日	内容	場所	講師
8月27日(火)	からだの不思議・・・楽しく踊ろう	榊原小体育館	長野多恵・伊藤知子

⑥ 森劇スタディー・・・・・・・・各資料・報告書は、資料3-②を参照ください。

- a. 実施概要：文化芸術活動・社会包摂活動・文化政策の勉強会、各活動の状況報告と共有（PDCA）、地域の問題点の情報交換・共有・意見交換などを行い、白山総合文化センターのより良い活用方法を探求し、広く市民が学べる場を設けている。
- b. 実施期間：4月～3月
- c. 実施回数：11回（第四(木)を基本とする 10：00～12：00） *11月は、芸術祭りハーサル月により行わない。
- d. 実施場所：白山総合文化センター内
- e. 参加人数：延べ150人
- f. 参加費：300円～500円（資料代、お茶・お菓子費用の実費）
- g. 実施プログラム詳細

日	内容	担当者	参加人数	参加費
4月20日(土)	森の劇場活動説明会	運営メンバー	22名	無料

5月23日(木)	・前年度まとめ ・今年度の活動計画の共有 ・前年度会計報告	(進行) 笠松/ (担当) 長野	14名	400円
6月27日(木)	あーとま塾(主宰: 可見市芸術創造センター) 参加報告と共有『劇場の再定義』	〃	16名	400円
7月25日(木)	官民協働の地域市民活動「パバスマイル四日市」設立者、館 啓司さん講演会	(ゲスト講師) 館 啓司	15名	500円
8月22日(木)	2019年度 芸術祭実施ミーティング	(進) 笠松/ (担) 長野	15名	400円
9月26日(木)	芸術祭進行状況報告/広報活動について	〃	14名	400円
10月24日(木)	あーとま塾『社会包摂』参加報告と共有	(進) 笠松 (発表) 笠松・中西・長野	10名	300円
12月26日(木)	芸術祭 総振り返り	(進) 笠松 (発表) 深田、小川、中西、須賀、市川、森松、中川、井谷、笠松、長野	13名	ナシ
1月23日(木)	子ども里山学校関連事業 総振り返り	(進) 笠松 (発表) 井谷、寺下、森松、笠松、長野	10名	300円
2月27日(木)	・ミエ・アート・ラボ (公益財団法人三重県文化事業団主催) 『アートと障害の関わり』報告 ・森劇第二期(2020~2023)計画 ・法人格の取得について	(進) 笠松 (報告) 笠松 (担当) 長野	9名	300円
3月26日(木)	・人件費の支払い ・雑談会	(担当) 笠松	12名	ナシ

⑦ 通信の配信 「森からの便り ～森劇プロジェクト通信～・・・・・・・・・・実際の通信は、資料3—③をご覧ください。

- a. 実施概要：活動の周知、メンバー同士の認識の共有のため、広報誌を発行している。
- b. 実施回数：2回/年 春号（4月発行）・秋号（10月発行）
- c. 配信方法：メンバーへの SNS 配信、協力者への郵送、白山総合文化センターに配置
- d. 発信部数：約 150 部
- e. 内容詳細

発行時期	内容	制作	編集
4月号	・2018年度子ども里山参加者親子感想 ・2018年度活動のまとめ～2019年計画	長野多恵	千種那理
10月号	・Wellbeing（健康と幸福）を生み出す新しい劇場づくり 各活動を担当する責任者の想いを掲載 ・芸術祭の宣伝	”	”

⑧ ようこそ森の劇場へ ～里山ばんざい芸術祭～・・・・・・・・・・プログラム・チラシなどは、資料2をご覧ください。

a. 実施概要：市民による舞台芸術創造の場を設ける。

「現代社会の抱える課題を、一人一人が意識し見直し、協力して解決していける場・高め合える場（現代のまつり場）としての芸術祭を提案・実施」

- b. 実施日：12月1日（日） 開場13：00 開演14：00 終演16：00 閉場17：00
- c. 実施場所：白山総合文化センター：しらさぎホール・コモンホール・ギャラリー・中庭
- d. 参加人数：運営=30人 出演者=63人 観客=411人
- e. 参加費： 大人1000円 子ども500円

f. 実施プログラム詳細

日	ブース	内容	時間	企画責任者
12月1日(日)	ギャラリー	・森劇プロジェクト活動案内の展示	9:00～	笠松智子
		・市民演劇「コノ村『山神』伝」アーカイブ展	9:00～	笠松智子
		・里山ポスト	13:00～	里山学校 OG
	中庭	憩い広場	9:00～	NPO もりずむ
	コモンホール	受付「ようこそ」	13:00～	深田亜季
		森劇 SHOP	13:00～	小川由子・中西ゆかり
	劇場通路	神話の道	13:00～	須賀優子
	しらさぎホール	里山の風景舞台上展示	13:00～	森松千恵
		市民演劇「コノ村『山神』伝」上演	14:00～	長野多恵(伊藤知子・笠松智子・笠井瑞穂)
ホワイエ	新米の振る舞い / 白山町の紹介	16:00～	中川ひろ子 / 白山道しるべの会 中川利生	

⑨ 大人も里山そうぞう学校 ばんざい club 《里山ばんざい芸術祭実行委員会》・・・・・・・・・・内容の詳細は、資料3-④を参照ください。

- a. 実施概要：芸術祭のコンセプトを確認、企画構想を共有しながら今年度のより良い芸術祭の開催に向けて取り組む実践活動を、コーディネーターの練習（自己人材育成）の場ともとらえクラブ活動として実施。
- b. 実施期間：7月～12月 第二（木）10:00～12:00 と、11月29日（金）・30日（土）、12月1日（日）
- c. 実施回数：8回
- d. 実施場所：白山総合文化センター
- e. 参加人数：11人
- f. 参加費：なし
- g. 実施プログラム詳細

日	活動内容	まとめ役責任者
7月11日(木)	舞台作品構想共有	長野多恵
8月8日(木)	舞台作品以外のブースの構想・担当決め	〃

9月12日(木)	各ブースの進行状況の共有、意見交換	〃
10月10日(木)	〃	〃
11月14日(木)	〃	〃
11月29日(金)30日(土)	会場設営	〃
12月1日(日)	本番	〃
12月19日(木)	振り返り会	〃

⑩ 大人も里山そうぞう学校 山の風 club・・・・・・・・・・内容の詳細は、資料3-⑤を参照ください。

- a. 実施概要：市民演劇「コノ村『山神』伝」の演出効果としての影コーラスなどの創作表現と裏方をたのしむクラブ活動。
- b. 実施期間：7月～12月 隔週(土) 14:00～15:30 *11月は毎週
- c. 実施回数：16回
- d. 実施場所：白山総合文化センターと周辺文化施設
- e. 参加人数：3人
- f. 参加費：8000円 (資料代、受講料、舞台参加費)
- g. 実施プログラム詳細

日	内容	講師
7月6日(土)	身体基礎トレーニング・歌 デモンストレーション	(身体) 長野多恵 (音楽) 伊藤知子
7月20日(土)	〃	
8月3日(土)	〃 / 舞台導入作品創作作業	
8月17日(土)	〃 / 〃	
9月14日(土)	〃 / 作品パート分け	
9月28日(土)	〃 / 作品練習	
10月12日(土)	〃 / 〃	
10月26日(土)	〃 / 〃	
11月2日(土)	〃 / 〃	

11月 9日 (土)	” / ”	
11月16日 (土)	” / ”	
11月23日 (土)	” 作品録音	
11月24日 (日)	出演者合同リハーサル	
11月29日 (金)		
11月30日 (土)	舞台通し稽古	
12月 1日 (日)	本番	

⑪ 大人も里山そうぞう学校 コノ村 club・・・・・・・・・・内容の詳細は、資料3—⑥を参照ください。

- a. 実施概要：作品の内容理解により、芸術祭の目的と芝居の内容を伝達（役者）する役割を担うクラブ活動。
- b. 実施時期：8月～12月
- c. 実施回数：不特定に47回
- d. 実施場所：白山総合文化センターと周辺文化施設
- e. 参加人数：10人
- f. 参加費：20000円～30000円（リハーサル費用、舞台出演費）
- g. 実施プログラム詳細

日	内容	担当責任者
8月6日(火)、8日(木)、10日(土) 15日(木)、17日(土)、20日(火) 22日(木)、24日(土)、25日(日) 29日(木)	全体の解釈、自分の役柄理解、 セリフ覚え	(総合責任者) 長野多恵 (音楽責任者) 伊藤知子 (衣装・美術責任者) 笠松智子 (舞台効果責任者) 笠井瑞穂
9月1日(日)、5日(木)、12日(木) 15日(日)、19日(木)、21日(土) 26日(木)	立ち稽古	
10月3日(木)、10日(木)、17日(木)	台本ナシ、動きを付ける	

19日(土)、24日(木)、27日(日) 31日(木)		
11月2日(土)、3日(日)、6日(水) 7日(木)、9日(土)、10日(日) 13日(水)、14日(木)、16日(土) 17日(日)、20日(水)、21日(木) 23日(土)	衣装・小道具を使つての通し稽古へ	
11月24日(日)	出演者合同練習	
11月28日(木)	最終チェック	
11月29日(金)	舞台稽古	
11月30日(土)	舞台通し稽古	
12月1日(日)	本番	

⑫ モンブランブラボー（自立型文化施設活用文化芸術活動）・・・・・・・・・・内容の詳細は、資料3-⑦

- a. 実施概要：【オハヨガ】白山総合文化センターの早朝のエントランス芝生スペースを活かし、身体に向かう時間を提供し、広く地域住民の健康と施設の認知度を上げることを目的に実施。
【五月の風コンサート】地域のコミュニティ醸成のきっかけとして、主催者側と利用者側と一緒に気軽に楽しめるイベントの企画・運営。
- b. 実施時間：【オハヨガ】5月～12月の主に第二(土) 6:30～7:00
【五月の風コンサート】5月3日(金・祝) 10:00～15:00
- c. 実施回数：【オハヨガ】8回
- d. 実施場所：【オハヨガ】白山総合文化センター玄関前の芝生
【五月の風コンサート】ギャラリー・中庭

e. 実施プログラム詳細

【オハヨガ】

日	内容	参加人数	企画責任者	参加費
5月11日(土)	ラジオ体操 と ヨガ	6名	野崎和美	無料
6月8日(土)		5名		
7月13日(土)		6名		
8月10日(土)		6名		
9月14日(土)		4名		
10月12日(土)		5名		
11月9日(土)		3名		
12月14日(土)		中止		

【五月の風コンサート】

日	内容	時間	企画責任者	参加料	参加者
5月3日(金・祝)	(美味いッコーナー) 洋菓子「節知」、玄米五平餅「百姓池田家」、 サンドイッチ「田中精肉店、チーズ「鈴木牧場」	10:00～	岩田知子、池田三朗、 田中エリ子、鈴木雄大		約70名
	(手仕事コーナー) ・チクチクほっこり手芸コーナー ・絵手紙やってみようコーナー	10:30～	笠松智子 北條九一郎	500円	50名 32名
	青空ほぐしヨガ	13:00～	宇田恭子	無料	21名
	みんなで呆けるコンサート	13:30～	南風舞	1000円	39名
			(全体) 長野多恵		

⑬ その他、参加したセミナー他、官民協議・・・・・・・・内容の詳細は、資料3-⑧をご覧ください。

日程	セミナー種類	参加者	
5月30日(木)	「あーとま塾2019」 劇場に関わる人のためのアーツマーケティング・ゼミ 主催：可見市芸術創造センター Step1、文化政策『劇場の再定義』	長野多恵・笠松智子・中西ゆかり	* 森劇スタディー6月の会にて メンバーと共有。 森劇スタディー6月資料参照
10月15日 (火)	アートマネジメント講座 主催：三重大	笠松智子・森松千恵	* 森劇スタディー10月の会にて メンバーと共有。 森劇スタディー10月資料参照
10月16日 (水) 17日 (木)	「あーとま塾2019」 Step2,社会包摂	長野多恵・笠松智子・森松千恵	上記に同じ
1月15日(水)	津市文化振興課との官民協議 2016～2019の事業内容の共有と、これからの展望について	(官)梅本氏、中野氏 (森劇)長野多恵・笠松智子 (民ゲスト)庄司勇木氏	* 運営メンバーでの共有 資料3-⑧参照
2月22日 (土)	ミエ・アート・ラボ ～アートと障害の関わり～ 主催：公益財団法人三重県文化振興財団	長野多恵・笠松智子	* 森劇スタディー2月の会にて メンバーと共有。 森劇スタディー2月報告参照

3. 今年度の事業を振り返って（所感）

●事業開始からの4年間、総合的振り返り●

「劇場法」「文化芸術基本法」「SDGs」「津市総合計画」に自然なカタチで則している。

理由として、まず、前例のない文化政策への市民参画に行政と市民の両サイドに真摯な姿勢があったことと、第三者として専門家のアドバイスを
得られたことが上げられる。 第二に目的意識を共有し自主的に参加を決めた異種混合のメンバーで活動をスタートできたことが、最初から
多様な意見・多様な行動を引き出す大きな要因になっていると考えられる。

このことは、特に意識せず、協議を楽しみ試行錯誤・創意工夫を繰り返しながら継続した活動方法が、意識的にまとめてみると法律に則っていた
と分析できる。

『文化創造事業』は、

今求められはじめた、社会機関（教育機能、福祉機能、質の高いコミュニティー回復機能を持つ）としての劇場への階段を、官民の協働を模索し
続けながら既に登り始めていることがわかります。

地域の風土・風習を土台に、丁寧に市民力を資源として活用していける活動方法が見えてきました。

多くの課題評価がなされる2030年に向けて、多くの人が多くの人の幸せを視野に入れて課題解決を目指せる意識の高い地域づくりにこれか
らこそ貢献できるでしょう。

*資料4. 子ども里山そうぞう学校参加児童・保護者アンケート、芸術祭参加者アンケート、を参照ください。

4. 本事業における特筆事項

(1) 2020年4月より、特定非営利活動法人森の劇場プロジェクトとして「津市文化創造事業」を担っていきます。

津市の市民参画及び協働による政策が、市民活動を育成したといえる理想的な地域市民活動のモデルであると、感謝し自負しています。

*資料3-②の森劇スタディー2月資料を参照ください。

(2) 公益財団法人三菱UFJ信託地域文化財団による、2020年度演劇部門の中で「里山ばんざい芸術祭」を助成事業に選考していただきま
した。 市民文化政策の役割をより良く担えるよう慎重に活用します。

5. 来年度に向けて

●ここからの4年間（2020～2023）を、第二期と考え事業計画を立てています。●

- ① 2014～2019年までに実施してきた事業を継続しながら、広く多くの人がある成果や未来にもたらす公益を共通に評価できる方法を見出すため、法律と連携できる道筋を整え示していきたいと思います。

↓

（理由）

この事業は報告書P18、3、でも記したように、自然なカタチで法律に則しています。

また、近年重要視されている、SDGs、市民参画や協働、社会資本形成可能、社会包摂機能を有するダイバーマネジメントを展開できる、といった内容を求められる公共文化施設の在り方を網羅しており、自然循環が始まっています。

しかし、実際に地域全体の栄養にするためには、市民の意識の協力をひろく得ることが重要です。実績がそこに触れてもよい時期だと考えます。

↓

（予想できる波及効果）

- ・ 指定管理者への仕様書づくりに貢献できます。

これは管理者と市民が協力し、当事者同士が関わるべきであるという当たり前ながら画期的なコミュニケーションの在り方の実践です。

- ・ 多くの文化事業の実用的な評価基準をつくることができます。

自治体の文化政策理念といったものは大変重要と考えますが、それをこれから市民の参画と協働で文字にしていくことは愉快的なことです。

このことが建物をシンボルとして愛される場にする根本だと考えます。

- ② 上記に加えて、一つひとつの企画事業を深め分析して、コーディネーターの役目を果たして行くことのできるリーダーを育成します。

（地域文化芸術コーディネーターの特別な性質を拾いだす。）

↓

（理由）

活動実践の中から、津市の文化政策に沿った、自立し、高い倫理観、正義感、利他心を持ち、アクティブな行動力や探求心を軽やかに表現できる人材が若い世代からも育ってきています。

↓

（予想できる波及効果）

例えば、公益性の高い子どもの文化芸術体験事業を、市内文化施設や教育機関と提携し展開することが可能になります。

最後に、

機械との共存・共生の良いスタイルをそうぞう（想像×創造）していくことが要求されるこれからの時代、どうぞ、まず2030に向かう10年を見据えて、頂上に見える素晴らしい景色を共に想像しながら、時々交差しつつ歩み続けていただきたいと思います。一年間ありがとうございました。



「遊びをせんとや生まれけむ 戯れせんとや生まれけむ

遊ぶ子どもの声聞けば わが身さえこそ揺るがるれ」

* 平安末期の歌集「梁塵秘抄」より

